

からしだね

vol.39

2021年5月



社会福祉法人ベテスタでは全施設の 感染症対策を実施しています

与える福祉ではなく、その人にとって必要なことをその人の自立に向けて支援する



2021 年度の方針について

日頃より、私たち社会福祉法人ベテスタの運営に対し、ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。昨年度は、コロナ対策中心の1年となりました。職員を始め、保護者の皆様や関係者の方々のご協力もあり、大事に至ることなく新年度を迎えることができたことに感謝申し上げます。しかしながら、コロナ禍が終息したわけでもなく、まだまだ、予断を許さない状況に変わりありません。引き続き皆様のお力添えが必要な状況です。

当法人では、この自粛期間を通じて、職員の支援力向上に向けた、取り組みを開始しました。その第一歩が、サポーターズカレッジ(障害者支援研修 e ラーニング)を取り入れ、組織マネジメント、リスクマネジメント、支援知識・技術を WEB 講座を通じて、研鑽してまいります。活動が制約される中、しっかりと地に足をつけ支援力の質の向上を引き続きはかる所存です。今後も地域福祉・地域社会に貢献できるよう職員一同真摯に取り組んでまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年度の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人ベテスタ
理事長 小林 孝重



昨年度は新型コロナウイルス感染対策により支援員スキル向上のための研修をしっかりと取り組むことが困難でした。また、利用者にとっても未知との遭遇と言わざるを得ない状況で定期的に帰省や外出をされている方々も我慢の1年間だったと思います。保護者、関係機関、職員および利用者の皆様のご協力があったからこそ、当法人内において新型コロナウイルス感染なく昨年度、乗り切ることができましたことを感謝申し上げます。

さて、今年度、新型コロナウイルス感染対策は必須ですが、利用者支援に取り組むにあたって支援員の支援力向上のために様々なカリキュラムを取り入れていこうと考えております。取り組む内容としまして、今年一年間は、サポーターズカレッジ (WEB 講座) を活用し、支援員の支援力向上のための知識の構築およびグループ討議を行うことによって職員間のコミュニケーション能力向上を目指していきます。職員がスキルアップすることにより利用者ひとりひとりに必要な支援を職員全員でおこなっていけるようにしていきます。

またサポーターズカレッジだけではなく、様々な研修に参加することによってより良い支援ができるよう取り組んでいきたいと考えております。

今年度も利用者にとってより良い支援が提供できるよう職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。保護者、関係機関、職員および利用者の皆様と共に日々、精進していきたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人ベテスタ
施設長 伊藤 和彦

今後のびーとるへの取り組み方

児童発達支援管理責任者 中村 克司

【当法人の理念を基に支援する放課後等デイサービス】

■法人の理念

与える福祉ではなくその人にとって必要なことをその人の自立に向けて支援する

■説明

職員の想いだけで支援や福祉サービスを提供するのではなく、利用者のおかれている状況やその人の障害特性等を基に利用者が職員の支援を受けることによって日常生活を楽しく過ごせるようにしていくこと。

コロナ禍により大きく社会が変化している中、放課後等デイサービス「びーとる」もこれまでの活動の見直しが必要となってきました。2021年4月より新営業形態では月～金の平日のみの営業となっております。これは障害特性に合わせた支援力の充実やイベントプログラムの充実を図り企画していくためとなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

今後の活動の一部を紹介いたします。

工作教室

季節の壁飾りや、紙粘土作品の制作をしています。型にはめず、子どもたち一人ひとりの個性が発揮できるような作品を作っています。



お出かけ

公園や動物園に出かけています。屋外でのびのび走り回ったり遊具を使って身体を動かしたりしています。



買い物

調理実習で使用する材料を近くのスーパーなどに買い出しに行きます。



調理実習

道具の準備から片付けまで、すべて子どもたちが自分のできるよう支援しています。自分たちで作った料理を食べると、美味しさと共に達成感も実感できます。



※この他、びーとる独自でイベントも行っています。



「あんぱんかん」完成いたしました。

2021年1月15日(金)三重県立明野高等学校で「あんぱんかん」完成発表会を開催させて頂きました。コロナ禍にも関わらず三重県農林水産部 担い手支援課 経営体支援班 班長 西井様、丹羽様、松阪福祉事務所 所長 石川様、沢山の報道機関の方々にお越しいただく事が出来ました。また三重県議会議員 田中祐治様、松阪市長 竹上真人様、伊勢市長 鈴木健一様、明和町長 世古口哲哉様、松阪市議会議員 米倉芳周様からのメッセージを頂く事が出来ました。

発表会は各代表からの挨拶から始めました。その後は明野高校生よりスライドを通しての説明を行いました。あんぱんかんの取り組みから栽培、出来上がるまでの過程などしっかりと丁寧に説明して頂きました。そして最後はあんぱんかんのお披露目をしました。ベテスタの利用者と高校生で布を取ってのお披露目です。会場内からの拍手と共に成功したことに喜びが感じられました。



発表会後に伊勢市船江にあるぎゅーとらハイジードで2日間限定で販売イベントをさせて頂いたところ、2日間共に2時間で90缶完売いたしました。購入されました方のご意見としては「和菓子みたい。」「昨日食べて美味しかったから今日も買いに来ました。」「あんこが長期間保つことが信じられない。」などとても嬉しいご意見ばかりでした。現在では注文を受けるごとに生産させて頂き、MEGA ドン・キホーテ伊勢上地店では常設販売いたしております。

新たな取り組みとして、コロナ禍により高校生がイベントに参加することが出来なくなった。との課題を解決するためにコロナ禍に対応した宣伝を目的として、高校生によるZoomを活用したリモート営業をMEGAドン・キホーテ伊勢上地店にて実施しております。お客様の反応としては珍しそうにパソコン画面越しに高校生とお話をされていました。

「農福連携事業の普及」「障害者雇用拡大及び賃金の向上」「災害時でも美味しいパンの製造」の3つの目標を立て始まった「高校生 × 福祉 応援プロジェクト」ですが、あんぱんかんの発表会後は企業、メディア、近隣の高校、大学関係者などから沢山の問い合わせを頂く事が出来ました。今後の発展に繋がると良いと考えております。



あんぱんかんができるまで



①3月26日 社会福祉法人ベテスタ、藤屋窓月堂、明野高校による3者合同の初めての打ち合わせ。



②6月1日 耕作放棄地の観点からサツマイモの選定。約400本の苗を植えました。



③11月1日 利用者と明野高校によって育てあげたサツマイモ約400kgを収穫。



④6月22日 3者による意見交流会。焼芋大福の餡を使い試食。菌検査も実施。

以下のように検査結果を報告致します

項目名	検査結果	単位	検査方法
一般生菌数	1.7×10^2	cfu/g	食品衛生検査指針による
大腸菌群	陰性	—	食品衛生検査指針による
黄色ブドウ球菌	陰性	—	食品衛生検査指針による
細菌同定	<i>Bacillus subtilis</i>	—	食品衛生検査指針による

製品名	芋あん25g(シリカゲル入り)		
受付日	2020年9月3日	報告日	2020年9月7日
保管温度	—	保管日数	—
製造年月日	2020年9月21日	検査日	2020年9月3日
		Lot No.	—

以下のように検査結果を報告致します

項目名	検査結果	単位	検査方法
一般生菌数	<300	cfu/g	食品衛生検査指針による
大腸菌群	陰性	—	食品衛生検査指針による
耐酸性芽胞形成菌	陰性	—	食品衛生検査指針による

⑤サツマイモの中に潜む土壌菌が原因で一般生菌数が17万に増殖。

⑥専用機器を使い滅菌処理を行い一般生菌の項目が陰性、土壌菌の数を0にすることに成功。



⑦11月20日 藤屋窓月堂にて利用者と高校生が餡作り。その後の6か月目の検査でも一般生菌数、土壌菌ともに0に。



⑧高校生が主体となり、デザインが完成。商品の概要がわかるよう、3者の名前と農福連携を入れていただきました。



⑨完成！

コロナ禍における利用者の活動

支援員 米川 圭亮・倉井 祥基

新型コロナウイルスの終息が見込めず、自粛期間が長くなり、保護者の皆様にも面会制限等でご迷惑をおかけしており、利用者さんたちも不安の中にあると感じます。新型コロナウイルスが終息し、以前のよう暮らしに戻ることを切に思い、職員一同、日々利用者さんに関わらせていただいています。

新型コロナウイルスで外出などなかなかできない状況下で、利用者さんにもコロナに負けず、少しでも楽しく過ごしていただきたく、ドライブに出かけたり、テイクアウトでハンバーガーをおやつに食べたりなど行ってきました。また、3月はひな祭りで利用者さんに紙コップでお雛さんを作ってもらいました。参加された皆さん真剣になり作っておられ、笑顔も見られ、楽しいひと時となりました。

引き続き予断を許さない日々が続きますが、コロナに負けず、この状況下で少しでも楽しく過ごしていただけるよう季節に合った活動などを提供していきたいと思っています。

米川 圭亮



コロナ禍の中、外出、面会ができない状況で利用者さん並びに保護者の皆様には我慢してもらうことが多いと思います。その中で利用者さんに日々の生活なるべく崩すことなく楽しい毎日を過ごしてもらえるよう活動を行ってきました。

室内でも楽しめるようちぎり絵や折り紙で作品を作ってみるといった余暇も行い比較的多くの利用者さんが参加され楽しまれていました。車椅子の利用者さんも平日に予定を合わせドライブを行い、気分転換をすることで普段見られないような笑顔も見ることができました。

引き続き予断を許さない日々が続きますが、今後も利用者さんが楽しめる活動をどんどん行っていきたいと思っています。

倉井 祥基



新入社員紹介

白山高卒
藤原明日香



ミスをするかも知れませんが、自分なりにできることを精一杯頑張ります！

白山高卒
高橋渚



利用者さんと一緒に笑顔をつくっていきたいと思います。失敗することが多いと思いますが頑張ります！

古川学園卒
金谷瑠七



一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

皇学館大卒
岩井悠真



常に笑顔で頑張ります！

高田短大卒
五島雅人



まだ分からない事も多いですが、利用者さんの事を考え活動していきたいです。

5名の新入社員のみなさんです。

今後の活躍を温かく見守っていただけると嬉しいです。

この商品は **農福連携事業** によって作られています

農福連携事業 ... 障がいなどのハンディを持つ方が農業分野で活躍することで、
更なる社会参画や地域共生を実現していく取り組みです

三重県立明野高等学校の生徒と
社会福祉法人ベテスタを利用する人と
有限会社藤屋窓月堂が作った

あんぱんかん

安納芋餡 入り 1缶(2個入り)
500円(税別)



餡に使用している安納
芋から育てました。
加工の難しい安納芋を、
防腐剤などの保存料を使
用せずに餡にして美味しくパン
に閉じ込めることができました。



パンの容器には缶を使用して
います。中を真空状態にすること
で長期保存ができ、災害時でも
美味しく食べることができます。
甘みと旨みの強い安納芋を贅
沢に使用した、新しい災害備蓄
用パンです。



お問い合わせ 社会福祉法人ベテスタ 「ぱんカンぱん」
〒515-0041 松阪市上川町1921-1

TEL 0598-28-4835 担当関口